

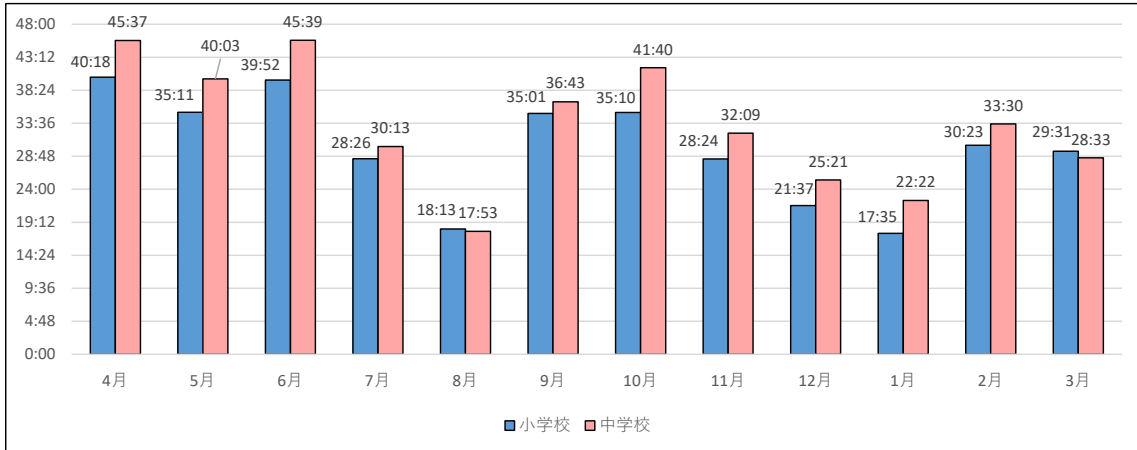
**令和5年度
根室市立学校の職員(会計年度任用職員含む市費職員を除く)に係る時間外在校等時間の状況について**

- ◆算出対象期間 : 令和5年4月～令和6年3月
- ◆算出対象校 : 市立学校 12校〔小学校:6校、中学校:4校、義務教育学校:2校(前期課程を小学校、後期課程を中学校に含む)〕
- ◆算出対象職員 : 市費職員以外の学校職員〔校長、教頭、主幹教諭、教諭、栄養教諭、養護教諭、事務職員〕

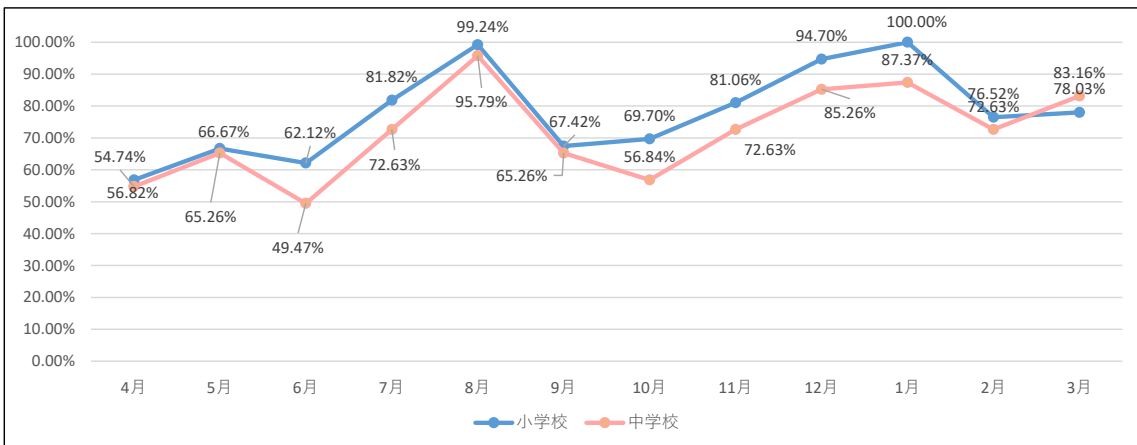
【目標値】※「学校における働き方改革のための業務改善計画(第2期)」において設定
教育職員の在校等時間から所定の勤務時間を減じた「時間外在校等時間」を
1か月で45時間以内、1年間で360時間以内とします。

1. 月別の時間外在校等時間の推移

(1)対象職員の時間外在校等時間(一人当たりの平均値)



(2)時間外在校等時間が月45時間以内の対象職員の割合



2. 年間の時間外在校等時間の状況

学校種	教職員数	うち年間360時間以内の職員	職員平均在校等時間	年間360時間を超過する職員
小学校	132名	65名 (49.24%)	359:48 h	67名 (50.76%)
中学校	95名	45名 (47.37%)	399:38 h	50名 (52.63%)

※職員数には、育休等により勤務のない者は含まない。

3. 調査結果の考察と今後の取組について

- 月別の時間外在校等時間(1人当たりの平均値)について、8月、3月を除く10か月においては、小学校より中学校の平均在校時間が長くなっており、このことは部活動指導、生徒指導対応の時間が影響しているものと考えられる。
- 時間外在校等時間が月45時間以内の職員の割合について、4月から6月及び9月、10月は、年度初めや運動会、文化祭等、学校行事の準備のため、また、2月、3月は成績表・指導要録の作成に時間を要するため平均在校時間が長くなっている。
- 年間の時間外在校等時間について、年間360時間以内を目標としているところ、小学校・中学校ともに360時間を超過する職員の割合が50%を超えている。(昨年度 小学校 44.36% 中学校 52.63%)
- 今後においても「学校における働き方改革のための業務改善計画」に基づく取組を推進するほか、業務を平準化させる体制づくりや同僚性の活用等により改善を図る。